令和６年６月４日

令和７年度静岡県公立学校教員採用試験　第１次選考
養護教員筆記試験における設問不備とその対応について

（義務教育課・高校教育課・特別支援教育課）

１　概要

令和６年５月 13 日(月)、一般の方から試験問題について指摘があり、確認したところ、問題として不適切であることが判明した。

２　当該教科及び問題等

【養護教員　筆記試験】(小・中・高・特支共通実施)

9　保健室の機能について、次の問いに答えなさい。

次の文章は、「保健室経営計画作成の手引（平成 26 年度改訂)」の抜粋である。（ａ）～（ｄ）に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、以下のア～カの中から選んで記号で答えなさい。解答番号は⑩。

保健室の機能は、中教審答申（H20.1）に示されているように、（ａ）として統括することができる。「場」としての機能として整理すると、学校保健安全法第（ｂ）条（保健室）に示されている「健康診断」「健康相談」「（ｃ）」「救急処置」に加え、「発育測定」「保健情報センター」「保健組織活動のセンター」などの機能がある。養護教諭は保健室経営をするに当たり職務や役割、保健室の機能を十分考慮した上で、保健室経営計画（課題解決型）を立て、（ｄ）に運営していくことが重要である。

ア	a	学校保健活動のセンター的機能	b	9	c	保健指導	d 組織的
イ	a	学校保健活動の管理的機能	b	19	c	保健教育	d 組織的
ウ	a	学校保健活動のセンター的機能	b	9	c	保健指導	d 計画的
エ	a	学校保健ステーション	b	9	c	保健教育	d 組織的
オ	a	学校保健活動の管理的機能	b	19	c	保健教育	d 優先的
カ	a	学校保健ステーション	b	9	c	保健指導	d 計画的

問題用紙その 15 問題９ 解答番号⑩の（ｂ）において、正答が「７」に対し、選択する数字が「９」または「19」のみとなっていた。

３　対応

当該問題については、全員正解とする。

令７　養護教員　その１／18

１　学習指導要領について、次の問いに答えなさい。

(1)「中学校学習指導要領解説 保健体育編（平成29年７月）第２章 第２節 各分野の目標及び内容 ［保健分野］ ２ 内容 （１）健康な生活と疾病の予防」で身に付けることができるよう指導する記述として正しいものを、以下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。解答番号は①。

ア　感染症の発生や流行には，時代や地域によって違いがみられること。その予防には，個人の取組及び社会的な対策を行う必要があること。
イ　生活習慣病や感染症及び精神疾患等の疾病について，予防及び健康づくりに関する課題を発見し，その解決に向けて考察すること。
ウ　病原体が主な要因となって起こる病気の予防には，病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高めることが必要であること。
エ　感染症は，病原体が主な要因となって発生すること。また，感染症の多くは，発生源をなくすこと，感染経路を遮断すること，主体の抵抗力を高めることによって予防できること。

(2) 次の文章は、「中学校学習指導要領解説 保健体育編（平成29年７月）第２章 第２節 各分野の目標及び内容 ［保健分野］ ２ 内容 （１）健康な生活と疾病の予防」の抜粋である。（ ② ）～（ ④ ）に当てはまる語句を、以下のア～クの中から一つずつ選んで記号で答えなさい。解答番号は②～④。

ア　知識

(ｳ) 生活習慣病などの予防

㋐　生活習慣病の予防

（省略）

㋑　がんの予防

がんは，異常な細胞であるがん細胞が増殖する疾病であり，その要因には不適切な生活習慣をはじめ様々なものがあることを理解できるようにする。

また，がんの予防には，生活習慣病の予防と同様に，適切な生活習慣を身に付けることなどが有効であることを理解できるようにする。

なお，㋐，㋑の内容と関連させて，健康診断や（ ② ）などで早期に異常を発見できることなどを取り上げ，疾病の（ ③ ）についても（ ④ ）ように配慮するものとする。

ア　治療	イ　触れる	ウ　取り扱う	エ　がん検診
オ　人間ドック	カ　考える	キ　回復	ク　防ぎ方

(3) 次の文章は、「中学校学習指導要領解説 保健体育編（平成29年７月）第２章 第２節 各分野の目標及び内容 ［保健分野］ ２ 内容 （４）健康と環境」の抜粋である。（ a ）～（ e ）に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、以下のア～カの中から一つ選んで記号で答えなさい。解答番号は⑤。

ア　知識

(ｱ)　身体の環境に対する適応能力・（ a ）範囲

㋐　気温の変化に対する適応能力とその（ b ）

気温の変化に対する体温調節の機能を例として取り上げ，身体には，環境の変化に対応した（ c ）があり，一定の範囲内で環境の変化に適応する能力があることを理解できるようにする。また，屋内外での（ d ）や山や海での遭難などによる低体温症などを取り上げ，体温を一定に保つ身体の適応能力には（ b ）があること，その（ b ）を超えると健康に重大な影響が見られることから，（ e ）の適切な利用が有効であることを理解できるようにする。

ア	a	最適	b	限度	c	調整機能	d	熱中症	e 天気予報
イ	a	適切	b	限度	c	調節機能	d	暑熱障害	e 災害情報
ウ	a	至適	b	限界	c	調節機能	d	熱中症	e 気象情報
エ	a	至適	b	限度	c	調節機能	d	暑熱障害	e 気象情報
オ	a	適切	b	限界	c	調整機能	d	熱中症	e 災害情報
カ	a	最適	b	限界	c	調整機能	d	熱中症	e 天気情報

２　学校環境衛生活動について、次の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、日常における環境衛生について述べたものである。適切でないものを、以下のア～オの中から一つ選んで記号で答えなさい。解答番号は⑥。

ア　それぞれの検査項目についてその実態を客観的、科学的な方法で把握する必要があるため、検査に使用する測定機器はデジタル機器を含め、適正なものでなくてはならない。

イ　各教室の環境については、学級担任の役割にするなど、校務分掌等に基づき教職員の役割を明確にして実施する。

ウ　身の回りの環境がどのように維持されているかを知る保健教育の一環として、児童生徒等が学校環境衛生活動を行うことも考えられる。

エ　点検結果は、定期検査や臨時検査に活用したり、必要に応じて事後措置を講じたりする。

オ　点検すべき事項について、毎授業日の授業開始時、授業中、又は授業終了時等において、その環境を点検する。

(2) 次の文章は、日常における換気の検査について述べたものである。a～f について適切であるものを○、適切でないものを×とした場合、組合せとして正しいものを、以下のア～オの中から一つ選んで記号で答えなさい。解答番号は⑦。

a　不快な刺激や臭気を感じたら、直ちに窓を開けて十分に換気をする。このとき、対角線上の窓も開け換気がスムーズに行われるようにする。
b　教室内の二酸化炭素濃度は、換気の良否等に深い関係がある。
c　石油等を利用する暖房器具の場合には、窒素酸化物や一酸化炭素の発生が問題となるので換気に注意する。
d　休み時間のみならず、授業中にも窓の開放や換気扇等により換気を行い、同時に廊下側の上部の窓（欄間）は開けるようにする。
e　冷暖房設備を使用する場合は、十分な換気が重要であるため、換気扇等の換気装置を運転する。換気装置がない場合は、常に窓を開けるなど換気を行う。
f　カーテンを閉めている場合でも、窓が開いていれば換気は十分に行われる。

ア	a ×	b ○	c ○	d ○	e ×	f ×
イ	a ○	b ○	c ×	d ○	e ○	f ○
ウ	a ×	b ×	c ○	d ×	e ○	f ×
エ	a ○	b ○	c ○	d ○	e ×	f ×
オ	a ○	b ×	c ×	d ○	e ×	f ○

(3) 次の文は、日常における環境衛生に係る学校環境衛生基準について述べたものの一部である。適切でないものを、以下のア～オの中から一つ選んで記号で答えなさい。解答番号は⑧。

ア　換気の基準は、換気が適切に行われていること。
イ　温度の基準は、17℃以上、28℃以下であることが望ましい。
ウ　明るさとまぶしさの基準は、黒板面に光るような箇所がないこと。
エ　飲料水の水質の基準は、給水栓水については、遊離残留塩素が 0.1 mg/L 以上保持されていること。
オ　雑用水の水質の基準は、給水栓水については、遊離残留塩素が 0.1 mg/L 以上保持されていること。

(4)　次の文は、日常における騒音の検査の基準について述べたものである。（　⑨　）と（　⑩　）に当てはまる数字を、以下のア～コの中から一つずつ選んで記号で答えなさい。解答番号は⑨、⑩。

教師の声の大きさは人によって異なるが、平均的には（　⑨　）デシベル程度であり、WHOによれば、聞き取りやすくするためには周辺の騒音レベルとの差が（　⑩　）デシベルは必要とされている。

ア	5	イ	10	ウ	15	エ	20	オ	35	カ	40	キ	50
ク	60	ケ	65	コ	70								

3　健康診断について、次の問いに答えなさい。

(1) 次の文章は、視力検査の実際について述べたものである。（　a　）～（　g　）に当てはまる数字の組合せとして正しいものを、以下のア～キの中から一つ選んで記号で答えなさい。解答番号は⑪。

1　視力表は国際標準に準拠したランドルト環を使用した視力表の（　a　）、（　b　）、1.0の視標を使用する。
2　視力表（視標）は、原則（　c　）m用を使用する。
3　視標面の照度は（　d　）ルクスとする。
4　はじめに（　a　）の視標から開始するのを原則とする。
5　（　a　）の視標が（　e　）方向のうち正答が（　f　）方向以下の場合は、「判別できない」とし、「D」と判定する。（　e　）方向のうち（　g　）方向を正答できれば「正しい判別」と判定し、次に（　b　）の視標にうつる。（　b　）の視標で同じく「判別できない」なら「C」と判定し、「正しい判別」と判定されれば1.0の視標にうつる。1.0の視標で同じく「判別できない」なら「B」と判定し、「正しく判別」できれば「A」と判定する。

ア	a 0.1	b 0.5	c 3	d 500～1000	e 4	f 3	g 4
イ	a 0.3	b 0.6	c 5	d 500～800	e 4	f 2	g 3
ウ	a 0.3	b 0.7	c 5	d 500～1000	e 4	f 2	g 3
エ	a 0.3	b 0.6	c 5	d 500～800	e 3	f 2	g 3
オ	a 0.1	b 0.5	c 5	d 500～1000	e 3	f 2	g 3
カ	a 0.1	b 0.7	c 3	d 500～800	e 4	f 3	g 4
キ	a 0.3	b 0.7	c 3	d 500～800	e 3	f 2	g 3

(2) 次の表は、耳鼻咽喉科疾患の有無について、学校における健康診断で対象となる主な疾患と判定基準について説明したものである。説明のうち適切でないものを、以下のア～ウの中から一つ（解答番号は⑫）、エ～カの中から一つ（解答番号は⑬）選んで記号で答えなさい。

記号	疾患異常名	内容
ア	滲出性中耳炎	滲出液の貯留の明らかなもの、鼓膜穿孔及び鼓膜癒着の疑いのあるものを含む。
イ	副鼻腔炎	中鼻道、嗅裂に粘液性分泌物を認めるなど、一見してその所見の明らかなもの。鼻茸（鼻のポリープ）を含む。
ウ	扁桃炎	他覚的に明らかに慢性炎症所見のあるもの。習慣性扁桃炎、病巣感染源と思われるもの。
エ	慢性中耳炎	耳漏(耳だれ)及び鼓膜穿孔を認めるもの。
オ	アレルギー性鼻炎	粘膜の蒼白腫脹、粘液性鼻汁等での他覚所見の明らかなもの。
カ	扁桃肥大	高度の肥大のために、呼吸、嚥下の障害（飲み込みにくくなる）を来すおそれのあるもの。

(3) 次の文章は、腎臓について述べたものである。（　a　）～（　f　）に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、以下のア～カの中から一つ選んで記号で答えなさい。解答番号は⑭。

腎臓には（　a　）とよばれる小さなろ過装置が１つの腎臓に対して（　b　）個くらいずつあり、血液中の（　c　）を尿中に出す働きをしている。腎臓はそれ以外にも、体の中の水分や（　d　）を一定に保つバランスをとる働きをしたり、（　e　）を一定に保つためにホルモンを出したり、（　f　）を作るためのホルモンを出したり、多くの大切な働きをしている。

ア	a	糸球体	b	1000 万	c	CO_2	d	塩分	e	心拍数	f 血液
イ	a	糸球体	b	500 万	c	老廃物	d	ミネラル	e	心拍数	f リンパ液
ウ	a	副腎	b	1000 万	c	CO_2	d	塩分	e	体温	f リンパ液
エ	a	副腎	b	100 万	c	老廃物	d	塩分	e	血圧	f 血液
オ	a	糸球体	b	100 万	c	老廃物	d	ミネラル	e	血圧	f 血液
カ	a	副腎	b	500 万	c	CO_2	d	ミネラル	e	体温	f リンパ液

(4) 次の文は、尿検査の実際について述べたものである。（　a　）～（　f　）に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、以下のア～キの中から一つ選んで、記号で答えなさい。解答番号は⑮。

1　尿は、尿中の蛋白、糖等について（　a　）により検査する。
2　正しい採尿は、就寝前に排尿をさせ、翌朝一番尿を少し排尿してから中間尿を（　b　）程度採尿する。
3　学校では、直射日光を避け、（　c　）場所に検体を集める。
4　蛋白尿は（　d　）時間後に陰転することがあるので、検査は採尿した当日に完了することが望ましい。
5　前日の夕方からの採尿は、尿中にある細菌が繁殖して、（　e　）が誤って出たり、（　f　）が消失したりするので望ましくない。

ア	a	煮沸法	b	10ml	c	人目につかない	d	6～12	e	蛋白尿	f 血尿
イ	a	試験紙	b	10ml	c	風通しの良い	d	6～12	e	蛋白尿	f 血尿
ウ	a	煮沸法	b	5ml	c	風通しの良い	d	5～10	e	蛋白尿	f 糖
エ	a	試験紙	b	10ml	c	風通しの良い	d	5～10	e	血尿	f 蛋白尿
オ	a	スルホサリチル酸法	b	10ml	c	風通しの良い	d	5～10	e	血尿	f 糖
カ	a	スルホサリチル酸法	b	5ml	c	人目につかない	d	6～12	e	血尿	f 蛋白尿
キ	a	試験紙	b	5ml	c	人目につかない	d	5～10	e	蛋白尿	f 血尿

４　救急処置について、次の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、三角巾を使用した足首捻挫の固定法について一連の動作を述べたものである。適切でないものを、以下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。解答番号は⑯。

ア　靴をはいた上から、たたみ三角巾の中央を土ふまずに当て、足首の後ろで交差し前に回す。
イ　足首の前で交差し、両端を土ふまずから足首の後ろへいく三角巾に、それぞれ外側から通す。
ウ　足首を曲げた状態で動かなくなるように引き締めてから、足首の前で結ぶ。
エ　余った端は、足首に巻き付けて結ぶ。

(2) 次の文は、突き指の手当について述べたものである。適切でないものを、以下のア～オの中から一つ選んで記号で答えなさい。解答番号は⑰。

ア　冷たい水で冷やす。
イ　割り箸、厚紙などで固定する。となりの指と固定する方法もある。
ウ　患部を心臓より高くしておく。
エ　変形したり指が動かなかったりしたときには、医師の診療を受けさせる。
オ　固定の際は、指を引っ張り、できるだけまっすぐにする。

(3) 次の文章は、一次救命処置である心肺蘇生法の実施について述べたものである。適切でないものを、以下のア～オの中から一つ選んで記号で答えなさい。解答番号は⑱。

ア　傷病者の反応の有無の判断に迷う場合には、119 番通報とＡＥＤの要請を行う。
イ　119 番通報の電話口で指示・指導が受けられるので、必要な場合は電話を切らずに指示を仰ぐ。
ウ　小児の心停止では、呼吸原生心停止（窒息や溺水などの呼吸器系の障害によって起きる心停止）の割合が多く、この場合は、人工呼吸がより重要となる。
エ　ＡＥＤの使用時に「ショックは不要です」というメッセージが流れた場合には、「循環が回復した」あるいは「心肺蘇生を中止してよい」という意味なので、心肺蘇生を中止し、救急車の到着を待ってよい。
オ　学校内での心停止の 80%以上が運動中に生じている。運動中の心停止は人前で起こることが多く、また電気ショックが効果的で、適切に対応すれば後遺症を残しにくいという特徴がある。

(4) 次の文は、一次救命処置のうち胸骨圧迫について述べたものである。適切なものを、以下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。解答番号は⑲。

ア　傷病者の胸が約３㎝沈み込むように圧迫する。 イ　小児の場合は、胸の厚さの約二分の一沈み込む程度に圧迫する。 ウ　圧迫のテンポは、１分間に 60～80 回とする。 エ　圧迫と圧迫の間は、胸が元の高さに戻るように十分に圧迫を解除する。

(5) 次の文章は、新型コロナウイルス感染症流行期の一次救命処置の考え方について述べたものである。（　⑳　）～（　㉒　）に当てはまる語句を、以下のア～オの中から一つずつ選んで記号で答えなさい。解答番号は⑳～㉒。

新型コロナウイルスは飛沫（しぶき）、エアロゾル（ウイルスなどを含む微粒子が浮遊した空気）あるいは接触により感染するとされている。口対口（　⑳　）には感染の危険があるが、（　㉑　）のみでもエアロゾルを発生させる可能性がある。新型コロナウイルス感染症が流行している状況においては、すべての心停止傷病者に感染の疑いがあるものとして救命処置を実施する。

エアロゾル感染を減らすためには、救助者は（　㉒　）を着用し、傷病者の鼻と口を（　㉒　）などで覆うことが重要である。成人の心停止に対しては、（　⑳　）を行わず、（　㉑　）のみを継続し、ＡＥＤが到着したら電気ショックを行う。ただし、小児の心停止に対しては、講習を受けて（　⑳　）の技術を身に付けていて、（　⑳　）を行う意思がある場合には、（　⑳　）も実施する。

ア　気道確保　　イ　人工呼吸　　ウ　胸骨圧迫　　エ　マスク　　オ　予防着

５　てんかん発作について、次の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、てんかんについて述べたものである。適切でないものを、以下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。解答番号は㉓。

ア　てんかん発作とは、脳にある神経細胞の異常な電気活動により引き起こされる発作である。
イ　手足がしびれたり耳鳴りがしたりする、動悸が生じる、意識を失う、言葉が出にくくなる、などの様々な症状が生じる。
ウ　抗てんかん薬は、てんかんの原因を取り除き、てんかん発作を起こりにくくする。
エ　てんかんのある人は1000人に５～８人と言われている。

(2) 次の文は、てんかん発作時のけいれんの症状について述べたものである。適切でないものを、以下のア～オの中から一つ選んで記号で答えなさい。解答番号は㉔。

ア　急に手足を硬くして突っ張る。
イ　手足の筋肉が自分の意志とは無関係に収縮する。
ウ　手足に力が入らず意識を失うこともある。
エ　呼吸困難はなく、顔面が紅潮する。
オ　嘔吐・失禁する場合もある。

(3) 次の文は、学校におけるてんかん発作時の坐薬挿入に関する記述である。正しいものを、以下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。解答番号は㉕。

ア　当該児童生徒及びその保護者が、事前に医師から、「学校においてやむを得ず坐薬を使用する必要性が認められる児童生徒である」ことと「坐薬の使用の際の留意事項」について、口頭で指示を受けていること。
イ　当該児童生徒及びその保護者が、学校に対して、やむを得ない場合には当該児童生徒に坐薬を使用することについて、具体的に依頼していること。
ウ　坐薬を使用した後、当該児童生徒を症状に応じて医療機関での受診をさせること。
エ　坐薬挿入の際には、学校現場において児童生徒の家庭環境に十分配慮すること。

6　次の事例を読んで、(1)～(3)の問いに答えなさい。

【事例】

５時間目の授業が終わった直後、まぶたの腫れを訴えて生徒が保健室に来室した。５時間目の授業は体育で、長距離走の練習をしていた。

椅子に座らせて様子を確認しているうちに、全身に蕁麻疹が発現し、呼吸が早く浅くなり、咳き込み始めた。この生徒に気管支喘息やアナフィラキシー、食物アレルギーの既往はなかったが、昼食後の長距離走の後だったため、「食物依存性運動誘発アナフィラキシー」を疑い、救急車を要請した。

診察の結果、「食物依存性運動誘発アナフィラキシーの疑い」と診断され、アドレナリン自己注射薬を処方された。

(1) 次の文は、「食物依存性運動誘発アナフィラキシー」について述べたものである。a～dについて適切であるものを○、適切でないものを×とした場合、組合せとして正しいものを、以下のア～オの中から一つ選んで記号で答えなさい。解答番号は㉖。

a　原因となるものを食べただけでは発症しない。
b　原因となるものを食べ、その後運動すると、アナフィラキシー症状が起きる。
c　激しい運動をしなければ、アナフィラキシー症状は起きない。
d　通常、原因食物を摂取して４時間以内に運動すると症状が出る。

ア	a	○	b	×	c	○	d	×
イ	a	○	b	○	c	×	d	○
ウ	a	×	b	○	c	×	d	×
エ	a	○	b	○	c	○	d	×
オ	a	○	b	○	c	×	d	×

(2) 事例の生徒が、後日、同じような症状で保健室を来室した場合に、アドレナリン自己注射薬を打つタイミングとして正しい記述を、以下のア～オの中から一つ選んで記号で答えなさい。解答番号は㉗。

ア　体育の始まる前。
イ　症状がなくても、長距離走が終わった直後。
ウ　長距離走が終わって、まぶたの腫れが出たとき。
エ　全身に蕁麻疹が発現し、咳き込み始めたとき。
オ　保護者か救急隊員が到着したとき。

令和２年度　スポーツ庁委託事業　学校における体育活動での事故防止対策推進事業
「スポーツ事故防止ハンドブック」一部引用

(3) 生徒が「息苦しさ」を訴えて保健室に来室した際に、酸素飽和度測定器（パルスオキシメーター）を使用することで、呼吸困難の緊急度の判断がしやすくなる。パルスオキシメーターの使用に関する記述として適切でないものを、以下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。解答番号は㉘。

ア　パルスオキシメーターは、指などに装着するだけで、SpO_2（経皮的酸素飽和度）と脈拍数を測定できる。
イ　測定部位の血流がよくないと、測定できないことがある。
ウ　SpO_2が 90％を下回る場合は、速やかに医療機関を受診する。
エ　一般的な過呼吸発作の場合もSpO_2は著しく低下する。

7　熱中症について、次の問いに答えなさい。

(1) 次の文章は、熱中症について述べたものである。適切でないものを、以下のア～オの中から一つ選んで記号で答えなさい。解答番号は㉙。

ア　熱中症の発生には、環境条件が関与している。環境条件の指標は気温、気流、湿度、輻射熱を合わせた暑さ指数（WBGT）が望ましい。気温が比較的低い場合には乾球温度（気温）を、気温が比較的高い場合には湿球温度を参考にする。
イ　乾球温度を用いる場合には、湿度に注意する。湿度が高ければ、１ランク厳しい環境条件の運動指針を適用する。
ウ　熱中症を疑ったとき、冷たい水を持たせて自分で飲ませる。
エ　熱中症を疑い、応急処置をして症状が改善した場合も、当日のスポーツ参加は中止し、少なくとも翌日までは経過観察が必要である。
オ　運動中の水分補給に冷たい水が良い理由は２つある。１つは冷たい水は深部体温を下げる効果があるからで、もう１つは、胃にとどまる時間が短く、水を吸収する器官である小腸に速やかに移動するからである。

(2) 次の文は、熱中症の病型について述べたものである。a～e について適切であるものを○、適切でないものを×とした場合、組合せとして正しいものを、以下のア～オの中から一つ選んで記号で答えなさい。解答番号は㉚。

a　熱失神は、血管の収縮と下肢への血液貯留のため、脳血流が低下して起こるもので、めまい、失神等の症状がみられる。
b　熱けいれんは、大量の発汗があり、水のみ補給した場合に塩分が不足して起こるもので、四肢の筋や腹筋がつり（けいれんし）、筋肉痛が見られる。
c　熱疲労は、主に脱水によるもので、全身倦怠感、脱力感、めまい、吐き気、嘔吐、頭痛等の症状が起こる。高体温になる。
d　熱射病（重症）は、体温調節が破綻して起こり、高体温（40℃以上）と種々の程度の意識障害（見当識障害から昏睡まで）が特徴である。
e　重症度別に並べると、軽症から順に、熱失神→熱疲労→熱けいれん→熱射病である。

ア	a	×	b	×	c	×	d	○	e ○
イ	a	○	b	○	c	○	d	○	e ×
ウ	a	×	b	○	c	○	d	○	e ○
エ	a	○	b	○	c	○	d	×	e ○
オ	a	×	b	○	c	×	d	○	e ×

令和２年度　スポーツ庁委託事業　学校における体育活動での事故防止対策推進事業
「スポーツ事故防止ハンドブック」一部引用

(3) 次の文は、熱中症の対応について述べたものである。適切でないものを、以下のア～オの中から一つ選んで記号で答えなさい。解答番号は㉛。

ア　熱失神は、涼しい場所に運び、寝かせる。脚を高くする等により通常は回復する。
イ　熱けいれんは、食塩を含んだ飲み物や生理食塩水等を補給すれば回復する。
ウ　熱疲労は、涼しい場所に運び、衣服をゆるめて寝かせ、水分と塩分を補給すれば通常は回復する。
エ　熱射病（重症）は、救急車を要請し、速やかに冷却処置を開始する。
オ　少しでも意識がおかしい場合には、重症度分類Ⅰ度以上と判断し、病院への搬送が必要である。「意識がない場合」は全て重症度分類Ⅱ度に分類する。

令和２年度　スポーツ庁委託事業　学校における体育活動での事故防止対策推進事業
「スポーツ事故防止ハンドブック」一部引用

(4) 次の式はWBGTを求める式である。（　a　）～（　e　）に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、以下のア～カの中から一つ選んで記号で答えなさい。解答番号は㉜。

算出　WBGT（屋外）＝0.7×（a）温度＋（b）×（c）温度＋0.1×（d）温度
　　WBGT（屋内）＝0.7×（a）温度＋（e）×（c）温度

ア	a	湿球	b	0.2	c	黒球	d	乾球	e　0.3
イ	a	湿球	b	0.2	c	乾球	d	黒球	e　0.3
ウ	a	黒球	b	0.5	c	湿球	d	乾球	e　0.2
エ	a	湿球	b	0.2	c	黒球	d	乾球	e　0.5
オ	a	湿球	b	0.3	c	乾球	d	黒球	e　0.5
カ	a	乾球	b	0.5	c	黒球	d	湿球	e　0.2

(5)　次の文章は、熱中症の応急手当について述べたものである。a～eについて適切でないものの組合せを、以下のア～ケの中から一つ選んで記号で答えなさい。解答番号は㉝。

a　現場での冷却処置として最も効果的なのは、首から下全体を氷水、冷水に浸けることだが、現場では、この対応が難しいことが多いことから、水道水を体（首から下全体）にかけ続ける方法が推奨される。
b　濡れタオルを当てて扇風機等であおぐ。
c　頚部の両脇、腋下、鼠径部等、体表近くに太い動脈のある場所を冷やす。
d　意識障害は、初期は軽いこともあるが、応答が鈍い、言動がおかしい等、少しでも意識障害がある場合には救急車を要請する。
e　熱けいれんの場合は、食塩を含んだ飲み物や生理食塩水（0.2%）を補給する。

ア	aとc	イ	aとe	ウ	cとe	エ	bとc	オ	bとd
カ	aとd	キ	cとd	ク	bとe	ケ	aとb		

令和２年度　スポーツ庁委託事業　学校における体育活動での事故防止対策推進事業
「スポーツ事故防止ハンドブック」一部引用

８　学校医、学校歯科医及び学校薬剤師（以下、学校三師という。）の職務について、次の問いに答えなさい。

(1) 学校三師に関する記述として適切でないものを、以下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。解答番号は㉞。

ア　学校三師は、学校保健計画及び学校安全計画の立案に参与する。
イ　学校薬剤師は、学校における一般用医薬品の管理状況について、臨時的に点検し、必要に応じて校長及び養護教諭に指導・助言をする。
ウ　学校三師は、一般用医薬品の選択、保管に関する注意事項、使用方法及び使用期限が切れた場合の対応などについて、校長、保健主事、養護教諭等に指導・助言を行う。
エ　学校には学校医を置くものとする。

(2) 次の文は、「学校保健安全法施行規則 第二十二条」（一部抜粋）である。（　a　）～（　e　）に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、以下のア～オの中から一つ選んで記号で答えなさい。解答番号は㉟。

○学校保健安全法施行規則
（学校医の職務執行の準則）
第二十二条　学校医の職務執行の準則は、次の各号に掲げるとおりとする。
一から四まで省略
五　法第十三条の（　a　）に従事すること。
六　法第十四条の（　b　）の予防処置に従事すること。
七　法第二章第四節の感染症の予防に関し必要な指導及び助言を行い、並びに学校における感染症及び（　c　）の予防処置に従事すること。
八　校長の求めにより、（　d　）に従事すること。
九　市町村の教育委員会又は（　e　）の求めにより、法第十一条の健康診断又は法第十五条第一項の健康診断に従事すること。

ア	a	健康診断	b	疾病	c	食中毒	d	救急処置	e 学校の設置者
イ	a	保健指導	b	感染蔓延	c	疾病	d	健康相談	e 学校
ウ	a	健康診断	b	感染蔓延	c	疾病	d	救急処置	e 学校の設置者
エ	a	健康診断	b	疾病	c	食中毒	d	健康相談	e 学校
オ	a	保健指導	b	食中毒	c	感染蔓延	d	救急処置	e 学校の設置者

(3) 次の文は、「学校保健安全法施行規則 第二十四条」(一部抜粋) である。(㊱) ～(㊳) に当てはまる語句を、以下のア～ケの中から一つずつ選んで記号で答えなさい。解答番号は㊱～㊳。

○学校保健安全法施行規則
(学校薬剤師の職務執行の準則)
第二十四条　学校薬剤師の職務執行の準則は、次の各号に掲げるとおりとする。
一から五まで省略
六　学校において使用する医薬品、毒物、劇物並びに保健管理に必要な (㊱) の管理に関し必要な指導及び助言を行い、及びこれらのものについて必要に応じ (㊲)、検査又は鑑定を行うこと。
七　前各号に掲げるもののほか、必要に応じ、学校における保健管理に関する専門的事項に関する (㊳) 及び指導に従事すること。

ア　用具及び器機	イ　用具及び材料	ウ　器機及び材料	エ　試験	オ　点検
カ　確認	キ　助言	ク　技術	ケ　手法	

(4) 次の文章は、学校医・学校歯科医・学校薬剤師の執務記録簿について述べたものである。(a) ～ (d) に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、以下のア～オの中から一つ選んで記号で答えなさい。解答番号は㊴。

学校医・学校歯科医・学校薬剤師が (a) に従事したときは、その (b) の概要を執務記録簿に記入して校長に提出しなければならない。また、この執務記録簿は、(c) 第 28 条で学校において備えなければならない (d) として明記されている。

ア	a　職務	b　業務	c　学校保健安全法施行規則	d　公簿
イ	a　職務	b　状況	c　学校教育法施行規則	d　表簿
ウ	a　執務	b　状況	c　学校教育法施行規則	d　表簿
エ	a　執務	b　業務	c　学校保健安全法施行規則	d　公簿
オ	a　職務	b　状況	c　学校教育法施行規則	d　帳票

9　保健室の機能について、次の問いに答えなさい。

次の文章は、「保健室経営計画作成の手引（平成 26 年度改訂）」の抜粋である。（　a　）～（　d　）に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、以下のア～カの中から選んで記号で答えなさい。解答番号は㊵。

保健室の機能は、中教審答申（H20.1）に示されているように、（　a　）として統括することができる。「場」としての機能として整理すると、学校保健安全法第（　b　）条（保健室）に示されている「健康診断」「健康相談」「（　c　）」「救急処置」に加え、「発育測定」「保健情報センター」「保健組織活動のセンター」などの機能がある。養護教諭は保健室経営をするに当たり職務や役割、保健室の機能を十分考慮した上で、保健室経営計画（課題解決型）を立て、（　d　）に運営していくことが重要である。

ア	a	学校保健活動のセンター的機能	b	9	c	保健指導	d　組織的
イ	a	学校保健活動の管理的機能	b	19	c	保健教育	d　組織的
ウ	a	学校保健活動のセンター的機能	b	9	c	保健指導	d　計画的
エ	a	学校保健ステーション	b	9	c	保健教育	d　組織的
オ	a	学校保健活動の管理的機能	b	19	c	保健教育	d　優先的
カ	a	学校保健ステーション	b	9	c	保健指導	d　計画的

10　学校におけるがん教育の在り方について、次の問いに答えなさい。

(1)「中学校学習指導要領解説　保健体育編（平成 29 年７月）第２章 第２節 各分野の目標及び内容 ［保健分野］ 3 内容の取扱い」で、がんの予防について取り扱う学年として正しいものを、以下のア～オの中から一つ選んで記号で答えなさい。解答番号は㊶。

ア　第１学年・第２学年・第３学年
イ　第１学年・第３学年
ウ　第２学年
エ　第１学年・第２学年
オ　第３学年

(2) 次の文は、学校におけるがん教育の基本的な考え方について述べたものである。適切でないものを、以下のア～オの中から一つ選んで記号で答えなさい。解答番号は㊷。

ア　日本人の死亡原因として最も多いがんについて、がんそのものの理解やがん患者に対する正しい認識を深める教育は不十分であると指摘されている。
イ　学校教育を通じてがんについて学ぶことにより、健康に対する関心をもち、正しく理解し、適切な態度や行動をとることができるようにする。
ウ　学校においてがん教育を推進する際には、「健康と命（いのち）の大切さを育む」という視点で取り組む。
エ　がんを他の疾病等と区別して特別に扱うことを目的とし、望ましい生活習慣の確立等も含めた健康教育そのものの充実を図る。
オ　現在及び将来に直面するがんに関する課題に対して、適切な思考・判断を行い、自らの健康管理や健康的な生活行動の選択ができるようにする。

(3) 次の文は、「中学校学習指導要領解説 保健体育編（平成 29 年７月）第２章　第２節 各分野の目標及び内容［保健分野］　２ 内容 (1) 健康な生活と疾病の予防」の抜粋である。（　㊸　）～（　㊺　）に当てはまる語句を、以下のア～コの中から一つずつ選んで記号で答えなさい。解答番号は㊸～㊺。

イ　思考力，判断力，表現力等

健康な生活と疾病の予防に関わる事象や情報から課題を（　㊸　），疾病等のリスクを軽減したり，生活の質を高めたりすることなどと関連付けて解決方法を（　㊹　），適切な方法を選択し，それらを（　㊺　）ことができるようにする。

ア　説明する	イ　追究し	ウ　学び	エ　考え	オ　解決し
カ　発見し	キ　見付け	ク　意識する	ケ　伝え合う	コ　探し

11　感染症について、次の問いに答えなさい。

(1) 次の文章は、学校において予防すべき感染症について述べたものである。（　a　）～（　e　）に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、以下のア～オの中から一つ選んで記号で答えなさい。解答番号は㊻。

学校保健安全法施行規則では、学校において予防すべき感染症の種類を、第一種から第三種に分けて規定している。第一種の感染症は、感染症法の（　a　）感染症と（　b　）を除く（　c　）感染症を規定している。第二種の感染症は、（　d　）感染または（　e　）感染するもので、児童生徒等のり患が多く、学校において流行を広げる可能性が高い感染症を規定している。

ア	a	二類	b	新型コロナウイルス感染症	c	三類	d	飛沫	e　接触
イ	a	一類	b	結核	c	三類	d	空気	e　飛沫
ウ	a	一類	b	結核	c	二類	d	空気	e　飛沫
エ	a	二類	b	新型コロナウイルス感染症	c	三類	d	飛沫	e　空気
オ	a	一類	b	結核	c	二類	d	接触	e　飛沫

(2) 次の文は、インフルエンザについて述べたものである。a～eについて適切であるものを○、適切でないものを×とした場合、組合せとして正しいものを、以下のア～オの中から一つ選んで記号で答えなさい。解答番号は㊼。

a　インフルエンザの合併症としては、肺炎、脳症、中耳炎、心筋炎、筋炎などがあり、幼児と高齢者が重症になりやすい。
b　現在国内で流行しているインフルエンザウイルスは、A型、B型、C型及びD型に大きく分類され、大きな流行の原因となるのは、A型とB型である。
c　2009 年から世界中で流行した「スペインインフルエンザ」は、日本でも約 40 万人の死亡者が出たと推測されている。
d　抗インフルエンザウイルス薬の服用を適切な時期（発症から 72 時間以内）に開始すると、発熱期間は、通常１～２日間短縮される。
e　インフルエンザワクチンは、接種すれば、インフルエンザに絶対にかからないというものではなく、インフルエンザの発病を予防することや発病後の重症化や死亡を予防することに一定の効果がある。

ア	a	○	b	○	c	×	d	×	e ○
イ	a	×	b	×	c	○	d	×	e ×
ウ	a	○	b	○	c	×	d	×	e ×
エ	a	○	b	○	c	×	d	○	e ○
オ	a	×	b	○	c	○	d	○	e ○

(3) 次の文は、インフルエンザについて述べたものである。（ a ）～（ d ）に当てはまる数字の組合せとして正しいものを、以下のア～オの中から一つ選んで記号で答えなさい。解答番号は㊽。

インフルエンザの出席停止の期間の基準は、学校保健安全法施行規則 第（ a ）条 第２項 イ により、発症した後（ b ）日を経過し、かつ、解熱した後（ c ）日（幼児にあつては、（ d ）日）を経過するまでと規定されている。

ア	a	20	b	5	c	2	d	3
イ	a	19	b	5	c	3	d	3
ウ	a	20	b	7	c	3	d	5
エ	a	19	b	5	c	2	d	3
オ	a	19	b	7	c	2	d	3

12　次の事例を読んで、(1) ～ (2) の問題に答えなさい。

【事例】この表は、インフルエンザに感染した小学１年Ａ児の経過である。

	体　温		症状等
	午前７時	午後７時	
１月９日（水）	36.5℃	38.7℃	午前 11 時：体温 38.0℃、だるさのため早退する。
１月 10 日（木）	38.2℃	38.0℃	インフルエンザと診断される のどの痛みと頭痛、だるさ
１月 11 日（金）	38.0℃	37.8℃	のどの痛みと頭痛、だるさ
１月 12 日（土）	37.8℃	38.0℃	のどの痛みと頭痛、だるさ
１月 13 日（日）	37.5℃	37.2℃	せきとだるさ
１月 14 日（月）	36.5℃	36.5℃	なし
１月 15 日（火）	36.4℃	36.5℃	なし
１月 16 日（水）	36.4℃	36.5℃	なし
１月 17 日（木）	36.5℃	36.5℃	なし
１月 18 日（金）	36.5℃	36.4℃	なし

(1)　インフルエンザによる出席停止最終日に当てはまる正しい月日を、以下のア～オの中から一つ選んで記号で答えなさい。解答番号は㊾。

ア　１月 14 日　イ　１月 15 日　ウ　１月 16 日　エ　１月 17 日　オ　１月 18 日

(2)　Ａ児が新型コロナウイルス感染症と診断され、事例と同じ経過であった場合の出席停止最終日に当てはまる正しい月日を、以下のア～オの中から一つ選んで記号で答えなさい。解答番号は㊿。

ア　１月 14 日　イ　１月 15 日　ウ　１月 16 日　エ　１月 17 日　オ　１月 18 日

受験番号		氏名	公開用解答

令７　養護教員

設問		解答番号	解答	配点
1	(1)	①	エ	2
	(2)	②	エ	2
		③	キ	2
		④	イ	2
	(3)	⑤	ウ	2
2	(1)	⑥	ア	2
	(2)	⑦	エ	2
	(3)	⑧	イ	2
	(4)	⑨	ケ	2
		⑩	ウ	2
3	(1)	⑪	ウ	2
	(2)	⑫	ア	2
		⑬	オ	2
	(3)	⑭	オ	2
	(4)	⑮	イ	2
4	(1)	⑯	イ	2
	(2)	⑰	オ	2
	(3)	⑱	エ	2
	(4)	⑲	エ	2
	(5)	⑳	イ	2
		㉑	ウ	2
		㉒	エ	2
5	(1)	㉓	ウ	2
	(2)	㉔	エ	2
	(3)	㉕	イ	2

設問		解答番号	解答	配点
6	(1)	㉖	イ	2
	(2)	㉗	エ	2
	(3)	㉘	エ	2
7	(1)	㉙	ア	2
	(2)	㉚	オ	2
	(3)	㉛	オ	2
	(4)	㉜	ア	2
	(5)	㉝	ウ	2
8	(1)	㉞	イ	2
	(2)	㉟	ア	2
	(3)	㊱	イ	2
		㊲	エ	2
		㊳	ク	2
	(4)	㊴	イ	2
9		㊵	ア	2
10	(1)	㊶	ウ	2
	(2)	㊷	エ	2
	(3)	㊸	カ	2
		㊹	エ	2
		㊺	ケ	2
11	(1)	㊻	ウ	2
	(2)	㊼	ア	2
	(3)	㊽	エ	2
12	(1)	㊾	ウ	2
	(2)	㊿	イ	2